

第3回 共同研究推進委員会 参加者の皆様へ

1. Zoom表示名について

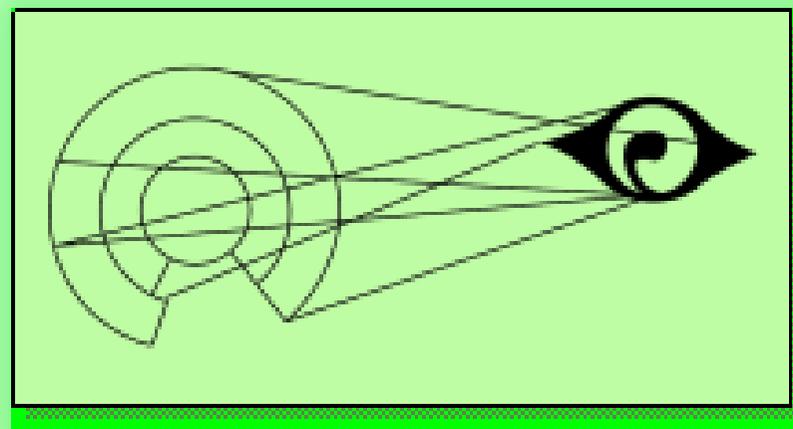
- ・「氏名@機関名」にさせていただきますよう、お願いします。
例:「佐々木祥悟@道研」

2. 本日のブレイクアウトについて

- ・協議では2つのグループに分かれてブレイクアウトを行います。
グループへの移動は運営側で行います。

※不具合等、不明な点がありましたら、チャットにて御連絡をお願いします。

令和7年度（2025年度） 第3回共同研究推進委員会



期日 令和8年1月9日(金) 14:30～16:30

北海道教育研究所連盟
共同研究推進委員会

本日の内容

【協議1】

- 研究内容1 「全ての子どもたちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』」について

【協議2】

- 研究内容2 「子どもの成長を支える連携・協働体制の構築」について

【協議3】

- 共同研究推進委員会の在り方について

【連絡・閉会】

【協議Ⅰ】

- 研究内容Ⅰ 「全ての子どもたちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』」について

- ① 「授業において大事にしたいこと」の成果と課題について
(約40分)
 - ・ 「授業において大事にしたいこと」に関して、授業実践における手立てと、その手立てがどのような「子どもたちの学びの姿」につながったのかについて、お話しいただきます。
- ② 第18次共同研究のリーフレット（案）の改善に向けた協議
(約30分)
 - ・ 域内における研修や校内研修等で活用しやすいものにするといった視点で協議します。
- ③ 全体交流（4分）

～休憩～

【協議2】

- 研究内容2「子どもの成長を支える連携・協働体制の構築」について

- 各教育研究所・センターにおける連携・協働の取組の成果と課題について（約15分）

【協議3】

○ 共同研究推進委員会の在り方について

- 今年度活動して感じた成果や課題について（約15分）

本日の内容

【協議1】

- 研究内容1 「全ての子どもたちの可能性を引き出す『個別最適な学び』と『協働的な学び』」について

【説明・協議2】

- 第18次共同研究のリーフレット（案）について

【実践交流】

- 研究内容2 「子どもの成長を支える連携・協働体制の構築」について

【連絡・閉会】

連絡

○ 実践事例について

- ・ 提出していただいた実践事例については、事務局で全体の体裁をそろえ、道研連Webページに掲載します。

○ リーフレットについて

- ・ 後日、委員の皆様にもメールにて送付し、御確認をいただいた後、加盟機関あて送付します。



北海道立教育研究所

☎: 011-386-4524

✉: doken@hokkaido-c.ed.jp

【このサイトの特徴】

○遠隔交流を実施してみたいという学校に対し、**交流内容の登録を行う**機能を提供しております。

○遠隔交流実施までの流れ

- ① 登録・掲載
- ② 検索・連絡
- ③ 打合せ
- ④ 実施

○詳細は、

令和7年10月22日付け事務連絡を御覧ください。

遠隔コミュニティサイト
「**である**」はこちら↓

<https://sites.google.com/doken.ed.jp/enkaku-community/index>



遠隔交流コミュニティサイト

である

遠隔交流で子どもたちの学習の機会が広がります！



授業の交流の場面で、協働して学習に取り組む



多様な意見や考えにふれる機会の充実を図る

遠隔交流コミュニティサイトは、へき地・小規模校同士をつなぐことを目的としたコミュニティです。

次のような取組を進め、「遠隔交流」を実施して、子どもたちの学習の機会を広げましょう。

- ・他の学校とつないで合同で授業を行うことで、協働して学習に取り組んだり、多様な意見や考えに触れたりする機会の充実を図る。
- ・遠方にいる講師が参加して授業を支援することで、自校だけでは実施しにくい専門性の高い教育を行う。

(出典：文部科学省「遠隔教育システム活用ガイドブック」(第3版))

登録フォームは
[こちら](#)

現在の申込み状況は
[こちら](#)

実施決定フォームは
[こちら](#)

**オンライン
開催**

令和7年度（2025年度）
**北海道立教育研究所
フォーラム**

**令和8年
2/9（月）
13:30～16:00**

未来の学びを創る

講演

**学び続ける教師
～教師の資質能力向上に向けて～**

国立教育政策研究所教育政策・評価研究部長
藤原文雄氏

13:00	13:30	13:35		14:40	14:50		15:50	15:55	16:00
接続 受付	開 会	研究成果発表	休 憩	講 演	質疑 応答	閉 会			

お申込み

■申込み方法
◇右の二次元コードもしくはURLにより表示されるフォームに必要事項を入力してお申し込みください。

申込み締切り 令和8年1月26日（月）

<https://www.harplg.jp/tze4DZbc>



研究成果発表

令和7年度テーマ：未来の学びを創る～北海道の特色を生かした持続可能な教育プログラムの構築～

《プロジェクト研究》

- ・遠隔教育の推進に関する研究 
〈研究のねらい（目的）〉
北海道の広域性、学校の小規模化を踏まえた遠隔教育の推進に向けた方策を提案する。
- ・STEAM教育の観点による探究的な学習の充実に関する研究（全教連課題研究）
〈研究のねらい（目的）〉
STEAM教育の観点から、地域の特性に着目し、探究的な学習の指導計画の改善について提案する。

《リサーチ・チーム》

- ・日本語指導が必要な児童生徒への支援について
〈研究のねらい（目的）〉
各学校において、日本語指導が必要な子どもたちをどのようにアセスメントし、どのような支援を計画し取り組んでいるのかなど、日本語指導担当教員に伴走しながら、支援の具体的なプロセスを調査し、実践記録としてまとめる。

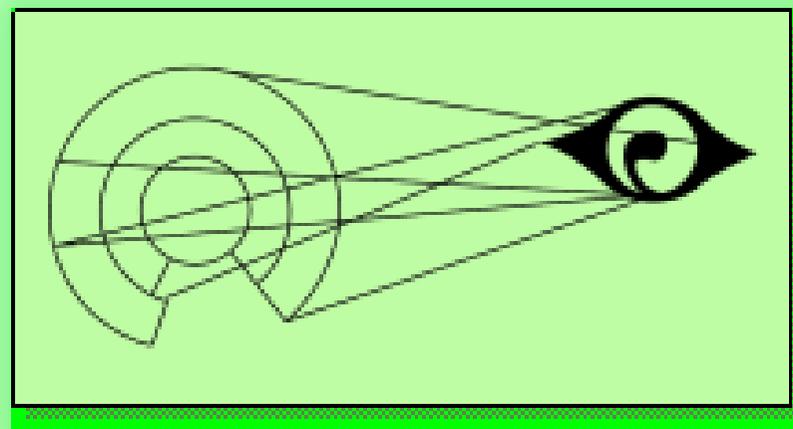
《令和6年度研究成果の普及》

- ・中学校技術・家庭（技術分野）「D 情報の技術」におけるプログラミングの研修（授業）教材の普及 
〈研究のねらい（目的）〉
令和6年度（2024年度）プロジェクト研究で作成したプログラミング教材を道内に広く普及するとともに、教材の充実を図り、中学校技術・家庭科（技術分野）におけるプログラミングの授業改善に資する。

研究主幹挨拶



令和7年度（2025年度） 第3回共同研究推進委員会



期日 令和8年1月9日(金) 14:30～16:30

北海道教育研究所連盟
共同研究推進委員会